

センターだより 7月号



梅雨が明けると、いよいよ盛夏を迎えます。これからの時期は、たくさん体を動かして遊び、十分な睡眠と栄養バランスの良い食事を取り、基本的な生活習慣や年齢に応じた基礎体力を身に付けていけると良いですね。また、新型コロナウイルスの心配だけでなく、時期的な感染症の流行しやすい季節でもありますので、引き続き手洗いうがいやこまめな水分補給、着替え等しながら快適に過ごせるよう予防に努めましょう。

センターでは感染防止に努めながら、子どもたちの大好きな水遊び、プール遊びも始めていきます。この時期ならではの、感覚遊びや夏の遊びをたくさん楽しみましょう。



7月の主な行事予定

1日(水)	園訪問(瑞浪幼稚園) 放課後等デイサービス
2日(木)	学校訪問(瑞浪小学校) 学校訪問(日吉小学校)
3日(火)	園訪問(桔梗幼稚園)
7日(火)	学校訪問(釜戸小学校)
8日(水)	園訪問(一色幼稚園) 放課後等デイサービス
10日(金)	園訪問(稲津幼稚園)
13日(月)	園訪問(竜吟幼稚園)
15日(水)	学校訪問(土岐小学校) 放課後等デイサービス
17日(金)	園訪問(啓明保育園) 学校連絡会(釜戸小学校)
22日(水)	放課後等デイサービス
27日(月)	学校連絡会(瑞浪小学校)
29日(水)	放課後等デイサービス

～園訪問～

6月半ばより、市内の各園を訪問し、子どもさんの園生活の様子を参観しています。

<目的>

- ・通所児の集団生活の様子を把握する。
- ・センターの個別支援計画を基に、支援方法について園に伝える。
- ・園とセンターで支援方法を検討し、共有していく。

※訪問の様子や検討内容については、担任より保護者の皆さんにお知らせします。また、個別支援計画にも取り入れていきます。よろしくお願いします。

*学校訪問・見学の集合時間等は、希望された方に担任よりお知らせします。

「夏祭り遊び」のお知らせ



毎年恒例、センターの一大イベント、「夏祭り」。今年も8月初めを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、例年通りの開催は難しく、残念ですが一堂に会しての夏祭りは中止することとなりました。楽しみにして下さっていた皆さん、申し訳ありません。

そこで、今年は指導時間を利用して、親子での「夏祭り遊び」を楽しみたいと思います。例年同様、夏祭りに向けた制作遊びも行い、お店屋さんの準備をします。指導室をお店屋さんに変身させて、夏祭りの雰囲気を楽しみます。みんなで楽しみましょう。※期間は、8月3日～8月7日の1週間を予定しています。

<放課後等デイサービス>

今年度は、1年生～3年生までの子ども達31人が、各グループに分かれて通所しています。コロナウイルスの為、5月の終わりからの本格的な指導開始となりました。放課後等デイサービスは、友だちとのグループ遊びを通しての支援となります。各学校からの友だちや、異年齢のグループ構成になる為、メンバーは様々です。1年生は、やっぱり慣れた職員と一緒にいることが安心・・・でも、少しずつ側を離れて他の友だちとの遊びにも入っていくようになります。自分の遊びを見て欲しくて、職員とじっくり関わりたい子、友だちとの遊びを楽しみたい子・・・それぞれですが、個々の思いに沿って遊びを展開していきます。

元氣一杯、1年生のしょうちゃん、なおくん、しゅんちゃん、りくくん。体を動かすのが大好き！「ドッチボールがしたい！」とのことで、さっそくゲーム開始。さすがは、小学生！投げる球のスピードもとても速い！逃げまどうものの、どんどん当てられていく職員でした・・・(-_-;) テンションが上がったところで、ルールを変えることに。長い長い話し合いの結果、なんと最後は、トランポリンの上からボールを当てるドッチボール(?)に大変身！一時間をたっぷり使って、運動遊びを満喫できました。いろんなアイデアのある子ども達。考えたことが、友だちと一緒に実現できた！そんな満足感を持ってもらえるといいな、と改めて感じた職員でした。これからも、子どもらしい個性やアイデアを大切に、いろいろな遊びや関わりを楽しめる時間にしていきたいと思います。

大きくなりました！ほけっと農園の野菜

センターの畑の野菜がどんどん大きくなってきました。今一番の収穫は、キュウリです。ミニトマト、ナスもだんだんと実がついてきました。その他、今年のお楽しみは、なんとスイカ。バジルとローズマリーもあって、お洒落な畑になっています(^_^) 指導の時に、タイミングをみて子ども達と収穫しています。自分で採った野菜は格別においしいですね。野菜嫌いな子も、是非挑戦してみると良いですね。

～ こころの「しなやかさ」を育てよう～

子どもの「気持ちの切り替え」や「気持ちのコントロール」について、お困りだという声をよく聞きます。誰でも、失敗したり、気持ちが折れそうになる・・・ということは当然あります。大人でもそうですね。思い通りにいかなくても、ぐっと我慢する気持ちや、気持ちを切り替えて、もう一度チャレンジしようという心はどのように育つのでしょうか。

1. 生活習慣を整える・・・すべては安心からスタート → 情緒が安定する

- ・生活リズムを整える。生活しやすい環境を整える。
- ・家庭が心のガソリンスタンドになる。気持ちを受け止めてもらえる、リラックスできる、安心できる場所に。

2. 成功体験を積み重ねる・・・自分に自信が持てる → 意欲が育つ

- ・上手くできていることをしっかりと認めていく。承認を子どもの喜びにする。
- ・大人と一緒に活動し、特性として苦手なことは、手助けしてもらいながら成功する体験をする。

3. 興味をいかして、役割をもつ・・・得意なことがわかる → 自己肯定感が持てる

- ・好きな事、関心のあることを十分に認め、大切にす。
- ・できること、好きなことを見極めながら、お手伝い等家庭の中の役割を作る。人に喜んでもらう経験をする。

4. サポートを受けて、気持ちを切り替える・・・自分の気持ちに気付ける

- ・泣いたり怒ったり、発散して収める経験のなかで、気持ちを切り替える実体験ができる。
- ・イライラや怒りを理解してもらえる大人の存在がある。落ち着いた後に気持ちの整理が一緒にできる。



幼児期では、まだ自分の気持ちの気付き自体も難しく、思いきり発散して表現する姿があります。その繰り返しの中で、少しずつ気持ちを自己修正する方法を学んでいきます。それには、気持ちを理解してもらえる大人との信頼関係や、自己肯定感がしっかり持っていることが大切です。子どもの気持ちの揺れ動きを、落ち着いて見守っていききたいですね。

*気持ちの切り替えにもいろいろな段階があります。是非、担当職員と話し合ってみてください。